

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 4月21日

高松市長 殿



提出者

住 所 高松市林町475番地1

氏 名 青葉工業株式会社

代表取締役 噂 耕司

電話番号 087-802-9500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

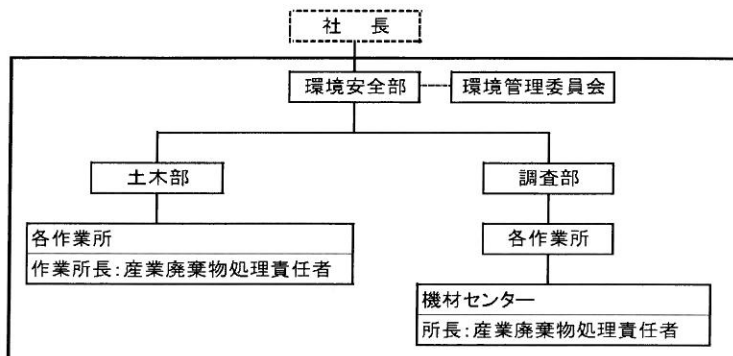
事業場の名称	青葉工業株式会社
事業場の所在地	高松市林町475番地1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 380,000万円
③ 従業員数	100人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>発生抑制→再生利用→中間処理</p> <p>1. 発生抑制 施工計画段階において廃棄物の発生抑制を考慮した工法、資材等を採用する。</p> <p>2. 再生利用 繰り返し使用できる資材は、極力転用する。</p> <p>3. 中間処理 廃棄物の分類を徹底し再生利用を推進する。</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

廃棄物管理組織図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成4年度)実績】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類			
	排出量	1,498.90	98.36	292.88	8.13	22.20			
	(これまでに実施した取組) 当社の作業所から排出される産業廃棄物排出量は1,920t/年(令和4年度)であり、再資源化施設に搬出している。								
②計画	【目標】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類			
	排出量	1,199	79	234	7	18			
	(今後実施する予定の取組) 当社の工事内容は、公共土木工事の受注が90%以上であり工事の種類により産業廃棄物の種類・量も様々であり、減量達成率計画の目標値を設定するのは困難である。 従って廃棄物処理の計画の目標としては、廃棄物の発生抑制の観点に立って使用する材料及び方法を採用し、再生処理施設・中間処理施設・最終処分場に100%搬出する事とし、年産業廃棄物発生量を1,537tとする。								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別している産業廃棄物の種類は、がれき類、汚泥、廃プラスチック、混合廃棄物である。主な産業廃棄物はがれき類であり、他の廃棄物と混合しないよう、仮置きせず、取り壊しごとに搬出している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後予定の産業廃棄物の種類は、主にながれき類である。他の廃棄物との混合を防止し、適正に搬出・処理することで、一層の循環型社会の構築に寄与する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】		単位:t					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類		
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
【目標】		単位:t					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類		
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】		単位:t					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類		
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
【目標】		単位:t					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類		
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量								
(これまでに実施した取組)									
②計画	【目標】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
(今後実施する予定の取組)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類			
	全処理委託量	1,498.90	98.36	292.88	8.13	22.20			
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量	1,498.90	98.36	292.88	8.13	22.20			
	認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(これまでに実施した取組) 当社の作業所から排出される産業廃棄物排出量は1,920t/年(令和4年度)であり、全て中間処理施設に搬出している。									

【目標】		単位:t					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	汚泥	混合廃棄物	廃プラスチック類		
全処理委託量	1,199	79	234	7	18		
優良認定処理業者への処理委託量							
再生利用業者への処理委託量	1,199	79	234	7	18		
認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
②計画	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>我が社の工事内容は、公共土木工事の受注が90%以上であり工事の種類により産業廃棄物の種類・量も様々であり、減量達成率計画の目標値を設定するのは困難である。</p> <p>従って廃棄物処理の計画の目標としては、廃棄物の発生抑制の観点に立って使用する材料及び工事方法を採用し、再生処理施設・中間処理施設に100%搬出する事とし、年産業廃棄物発生量を1,537tとする。</p>						
※事務処理欄							